

西臼杵医療センターの取組状況について

令和 7 年 2 月

西臼杵広域行政事務組合病院事業

(西臼杵医療センター)

西白杵医療センターの取組状況について (令和6年10月～令和7年3月)

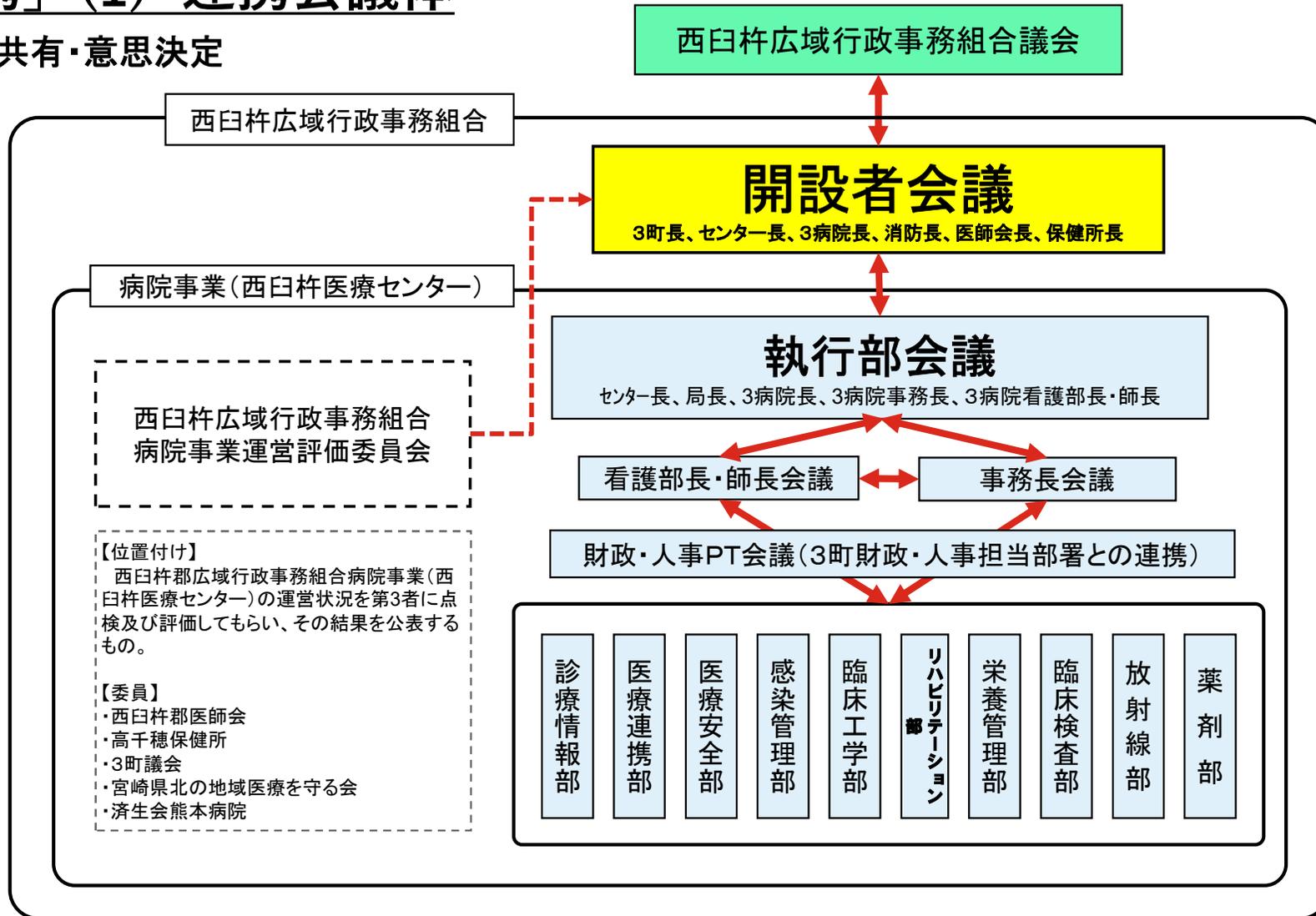
今年度の取組の2本柱

1 「連携」

2 「人材確保・育成」

1 「連携」(1) 連携会議体

※情報共有・意思決定



1 「連携」 (2) 3町との連携

※3町の財政担当及び人事担当と適宜協議

高千穂町

日之影町

五ヶ瀬町

財政PT会議

- ・ 予算
- ・ 設備更新計画
- ・ 負担金(繰入金)

人事PT会議

- ・ 出向職員
- ・ 退職手当
- ・ 採用計画



西臼杵医療センター

高千穂町国保病院・日之影町国保病院・五ヶ瀬町国保病院

1 「連携」 (3) 各医療機関と 横と縦の連携



1 「連携」 (4) オンライン診療①

【高千穂町国保病院】

- ・ 済生会熊本病院から週2回（火・金）の循環器科診療で医師派遣を受けている。
- ・ 令和6年11月からオンライン診療を開始。
- ・ 現在は月1回、対面診療の経験のある初診以外の患者を対象に実施。
（主に定期受診を中心とした患者）

高千穂町国保病院



(患者)

済生会熊本病院



(医師)



1 「連携」 (4) オンライン診療②

【五ヶ瀬町国保病院】

管内外の介護・福祉施設（4施設）と連携し、オンライン診療実証実験を実施。実証実験は同じ4施設で2回実施し、1回目の経験を踏まえて、2回目ではより実装に近い形で実施した。（診療予約、問診票記入など）

※第1回（1月21日～22日） 第2回（2月18日～19日）

【宮崎県医療政策課事業】

五ヶ瀬町国保病院

介護・福祉施設



(医師)



(患者)



報道取材の様子

1 「連携」 (5) 3病院の制服を統一

令和7年度から3病院の制服を統一します。

- ・西臼杵医療センターとして一体感の意識を醸成する。
- ・病院間の職員異動についてスムーズ化を図る。

看護師 (3色のうち1人あたり2色上衣選択)		管理栄養士	
			
放射線技師	リハビリセラピスト	ソーシャルワーカー	
			
視能訓練士	臨床工学技士	ナースエイド	
			

1 「連携」 (6) 地域医療推進講演会

年6回 ※今年度最後の講演会は3/19 (水) に開催

西白杵医療センター研修会
地域医療推進講演会

1.日時・場所
令和6年5月22日 (水) 17:30～
高千穂町国保病院 大会議室

2.講師
【宮崎県立延岡病院】
● 金丸 肇弘 先生 ● 前田 登太郎 先生 ● 森久保 晋 看護部長

3.演題名
～縦の医療～

4.申込

西白杵医療センター研修
第2回 地域医療推進講演会

1.日時・場所
令和6年7月17日 (水) 17:30～
高千穂町国保病院 大会議室

2.講師
【宮崎県看護協会】
中武 郁子 会長

3.演題名
7月
【看護力】

4.申込

西白杵医療センター研修
第3回 地域医療推進講演会

1.日時・場所
令和6年9月18日 (水) 17:30～
高千穂町国保病院 大会議室

2.演題名
～西白杵医療界における労務管理～
第1部「今日からできる働き方改革」…… 能勢 直弘 先生
第2部「パワハラ事例から学ぶ職場改革」…… 黒木 美生 先生

3.講師
能勢 直弘 先生 黒木 美生 先生

4.申込

西白杵医療センター
第4回 地域医療推進講演会

1.日時・場所
令和6年11月13日 (水) 17:45～
高千穂町国保病院 大会議室

2.演題名
公立病院の存在意義とネットワーク化の必要性

3.講師
宮崎産業経営大学 経済学部 教授 川島 秀樹 先生

4.申込

西白杵医療センター
第5回 地域医療推進講演会

1.日時・場所
令和7年1月15日 (水) 17:30～
高千穂町国保病院 大会議室

2.演題名
医療と介護の連携
～地域型在宅医療の確立をめざして～

3.講師
結・在宅クリニック 院長 岩谷 健志 先生

4.申込

1月
【在宅・介護】

1 「連携」 (7) MRIの更新 (高千穂町国保病院)

更新の経緯

令和6年10月17日に高千穂町国保病院のMRIが故障し修理不能と判断された。

MRIは年間約600件の検査を行っており、使用できない期間が長期間に及ぶと郡民及び関係医療機関への影響が大きく早期の更新が必要とされた。

開設者会議(10/25)にて、3町の代表者から早期更新について理解を得ることができ、更新準備を進めるよう提言があった。

12月組合議会(12/5)にてMRI補正予算議案の承認を受け、その後、企画提案競技(プロポーザル方式)を実施し、4社の中から購入機器を決定した(12/20)。

1 「連携」 (7) MRIの更新 (高千穂町国保病院)

※MRIの導入 (新機器) について

- ① 購入金額 149,600千円 (税込)
- ② メーカー シーメンスヘルスケア (株)
- ③ 規格 1.5テスラ 70cm径
- ④ 納期 令和7年3月末 納品予定

※稼働は納品から1～2週間後。

1 「連携」 (8) 救急医療体制の強化

背景

- ・人口は減少しているが、高齢者の増加に伴い救急件数は増加している。
- ・3町病院の機能再編による搬送先の整理・役割分担の強化が必要。
- ・3町病院で救急患者を受入れできるよう救急告示病院としての機能は維持する。

方針

3町病院の救急告示施設基準を維持すべく、かかりつけ患者はかかりつけ医療機関で対応し、急性期の重症患者等は高千穂町国保病院に集約する。

ただし、患者の状態、地理的要因等を考慮して、日之影町国保病院及び五ヶ瀬町国保病院が対応可能と判断した場合はこの限りではない。

※かかりつけ患者とは

当該医療機関を定期的に受診し、当該医療機関の医師から定期的に処方を受けている患者。

救急車の受入れ方針

かかりつけ患者



かかりつけ医療機関

* かかりつけ有

初発の急性期疾患
救急対応が必要

* かかりつけ無

初診
旅行者（外国人）
交通事故



高千穂町国民健康保険病院

医療機能再編と役割分担の強化



急性期患者の受入れ



急性期を脱した患者の受入れ

救急を要する患者の初療

神楽プロジェクトチーム (KAGURA)

救急医療についての機能強化を検討。

重点：① 3 町病院間の連携 ② 病院—消防との連携 ③ 災害時の役割

令和6年10月発足



昼夜を問わず行う救急医療と夜通し行う夜神楽が共通することからセンター長が命名 14

中山間地域医療人材交流研修を活用した看護師研修

期間：令和7年1月20日から令和7年2月14日まで

県立延岡病院（救命救急センター他）



高千穂町国保病院から
2名の看護師を2週間
ずつ派遣。

高千穂町国保病院



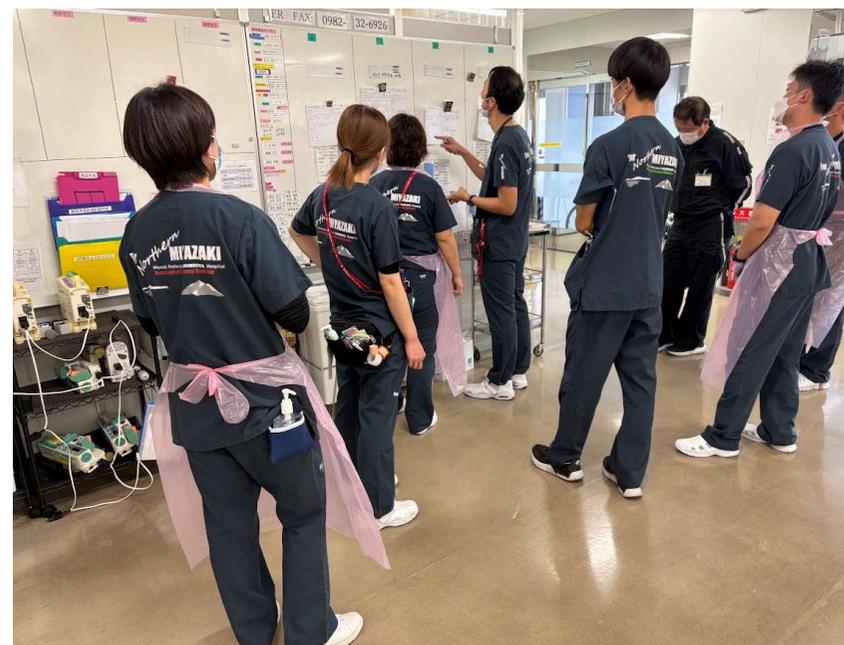
県立延岡病院から
救急認定看護師を受入れ。

救急救命士病院研修

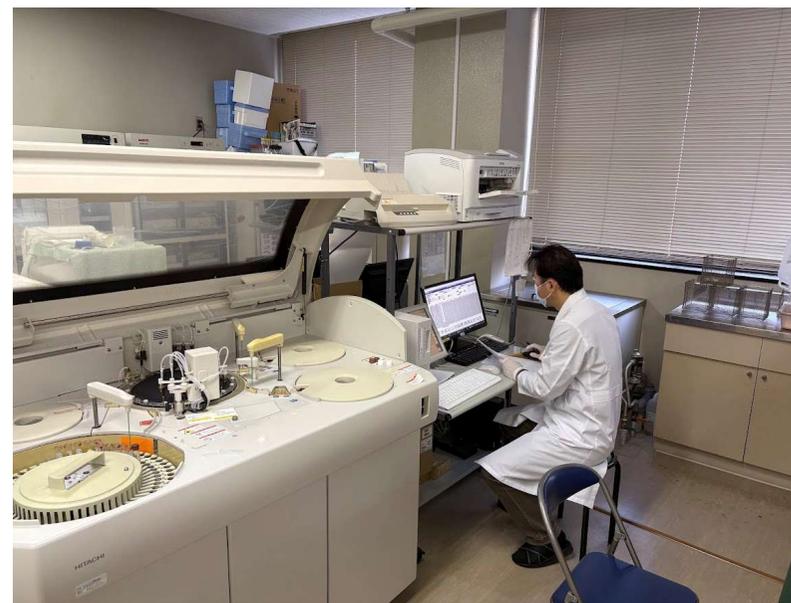
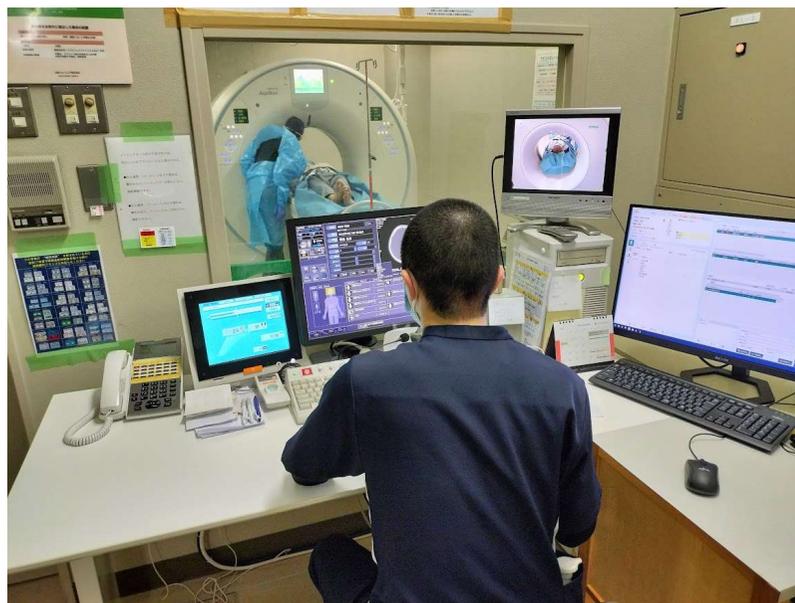
期間：令和6年10月から令和7年3月まで 月2回

県立延岡病院

ドクターカーへの同乗や救命センターでの活動をとおりて、
高度なチーム医療を理解する。



放射線技師、臨床検査技師の協力体制の検討



検討事項

三町病院の技師が協力できる体制
MRIや検査機器の共同利用 等

西臼杵救急ワークステーション（通称：NEWS）の試行運用実施

期間：計3日間（令和7年1月22日、1月30日、2月7日）



令和7年1月22日 試行運用開始式

「西臼杵救急ワークステーション（通称：NEWS）」

医療機関に消防本部の救急車1台と救急隊員3名が待機し、医師や看護師等から指導を受けながら救命処置などの実習を行う「生涯教育体制」を確立するとともに、医療に携わる多職種との連携を強化し、西臼杵地域の救急医療の向上を図る。

Nishiusuki Emergency Medical Service Work Station



- 1 救急救命士の生涯教育
- 2 多職種間の連携強化と相互理解
- 3 医師、看護師
同乗による早期医療介入



- 1 医療者の人材確保
- 2 適切な人員配置と勤務体制
- 3 災害への備え



2 「人材確保・育成」 (1) 医師確保

宮崎大学医学部附属病院

- ・ 賀本新病院長訪問 10月
- ・ 盛武新医学部長訪問 11月
- ・ 整形外科 亀井新教授訪問 11月
- ・ 研修ローテーション説明会 11月

臨床研修医（1年次40名）へのPR



2「人材確保・育成」(2) 就職説明会等

①宮崎県

- ・看護就職フェア 10月
- ・看護人材確保研修会 11月

②延岡看護専門学校

- ・講義（センター長） 11月
- ・病院奨学金説明会 11月
- ・夜間定時制説明会 1月

③宮崎県立看護大学

- ・医療機関合同説明会 12月
- ・講義（センター長） 1月

④九州医療科学大学

- ・救急救命コース、臨床検査技師コース訪問 10月
- ・業界研究会（薬学科） 11月

⑤大分日本文理大学医療専門学校

- ・放射線科個別説明会 12月

⑥聖心ウルスラ学園高等学校

- ・講義（センター長） 2月



2「人材確保・育成」 (3) 病院施設見学の受け入れ

①大分日本文理大学医療専門学校

令和7年1月29日(水)
放射線科(3年生) 1名



②九州医療科学大学

令和7年2月17日(月)
薬学科(4年生) 1名

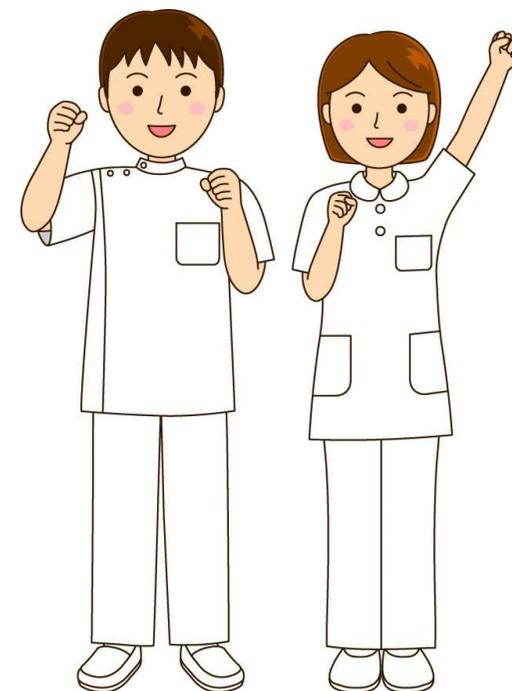


2「人材確保・育成」 (4) 看護学生の実習受け入れ

- ・西臼杵医療センターが延岡看護専門学校の実習施設に新たに登録されました。

- ・実習指導者も新たに配置します。
(3町病院看護師が実習指導者講習を受講します。)

- ・令和7年度から看護学生の実習受け入れを開始します。



2「人材確保・育成」 (5) 応援医師・研修医の確保

① 応援診療の受入れ（高千穂町国保病院）

- ・ 県立延岡病院より小児科医師の応援診療開始
令和6年11月から月1回（第3火曜日）
- ・ 県立延岡病院医師による医師派遣（宮崎県へき地医療支援機構制度）
令和6年2月から週2回

② 卒後臨床研修医の受入れ（令和7年度）

研修プログラム	受入れ施設	研修月
熊本大学	高千穂	5月
		7月
県立延岡病院	高千穂	8月
宮崎大学	五ヶ瀬	9月
	高千穂	9月
		10月 11月

2「人材確保・育成」 (6) 修学資金貸与の状況

貸与の対象者

医師、薬剤師、看護師の養成施設に在学中又は入学が決まっている方で、資格取得後郡内の公立病院で勤務できることを約束できる方

貸与金額

- ① 修学資金
医師・薬剤師:月額10万円 看護師:月額5万円
- ② 入学資金
養成施設等の入学金の2分の1に相当する額
(上限 医師・薬剤師:100万円 看護師:20万円)
 - ・ 令和6年度貸与開始者3名 (医学部・薬学部・看護学科)
 - ・ 令和7年度貸与内定者5名 (看護学科)

2「人材確保・育成」 (7) 看護師確保PR動画作成

- 県医療政策課事業を活用し、西臼杵医療センターの看護師PR動画を作成しました。
- 3公立病院からそれぞれ1名の看護師が出演します。
- PR動画は県のホームページと西臼杵医療センターのホームページにアップされます。
- 就職説明会などでも活用していきます

へき地で働く

看護師のオンとオフ

2 「人材確保・育成」 (8) 職員採用試験

■第1期採用試験

7月14日	薬剤師	応募	0名	
	看護師	応募	3名	<u>合格 2名</u>

■選考試験

8月19日	救急救命士	応募	1名	<u>合格 1名</u>
-------	-------	----	----	--------------

■第2期採用試験

10月 5日	薬剤師	応募	0名	
	看護師	応募	5名	<u>合格 4名</u>

□第3期採用試験

3月 1日	看護師	応募	1名	
	言語聴覚士	応募	1名	



2「人材確保・育成」 (9) 勤怠管理システムの導入

令和7年度から勤怠管理システムを導入します。

- 勤怠管理システムとは、職員の労働時間や出退勤記録を管理するためのシステムです。
- 医師の働き方改革が2024年4月から施行されました。
- 管理者には職員の労働時間を客観的な記録によって把握する義務があり、システムを利用した労働時間の記録は、この客観的な記録として推奨されています。
- 労働時間を正確に把握することは、職員の加重労働を防ぎ、健康を守ることに繋がります。

